

2022年2月24日

北九州市長
北橋 健治 様
北九州市教育長
田島 裕美 様

日本共産党北九州市会議員団

団 長 荒 川 徹
副 団 長 藤 沢 加 代
幹 事 長 山 内 涼 成
政 調 会 長 大 石 正 信
議 員 高 橋 都
議 員 出 口 成 信
議 員 伊 藤 淳 一
議 員 永 井 佑

新型コロナのオミクロン株の感染から

市民のいのちを守るための緊急申し入れ

市長並びに本市行政の各部署におかれましては、新型コロナウイルス禍への対応のために日々ご尽力いただいておりますことに、心より敬意を表します。

新型コロナのオミクロン株により連日多くの感染が確認され、本市においても病床利用率が高止まりしているなかで、高齢者を中心に死亡の発表が相次いでいます。また、自宅療養者は、一時4千人を大きく超える状況となりました。

市民に対する感染防止の注意喚起と合わせて、市民のいのちを守るための対策を強化するために、下記のように本市の取り組みをいっそう強化することを要請致します。

記

1. 安心・安全、迅速なワクチン接種を早期に実施すること

- (1) 政府に対し、当面3回目の接種を迅速に実施するために、安定的で十分な量のワクチン供給を強く求めること。
- (2) 高齢者をはじめ、医療機関、介護施設、児童福祉や障害者福祉施設の従事者、及び学校の児童・生徒、教職員について、2回目の接種から6か月経過したすべての希望する対象者に対し迅速に接種を行うこと。

2. PCR 等検査の拡充をはかること

- (1) 高齢者施設や医療機関に対して、感染拡大を防ぐため、積極的な定期検査を実施すること。学校、児童福祉施設等での公費負担による検査を拡充すること。
- (2) 福岡県が健康上の理由等によりワクチン未接種の人や、感染不安を感じる県民を対象に実施している無料検査について、実施場所の拡大、不足している試薬や検査キットの確保を強く要請すること。
- (3) ワクチン接種の対象年齢に達していない、又は健康上の理由でワクチン接種が受けられない市民を感染から守るために、検査を徹底すること。

3. 保健所の体制拡充と、医療体制を抜本的に強めること

- (1) 第6波の感染急拡大に対し万全の備えをつくるため、保健所の恒常的な職員増など、抜本的な体制強化をはかること。
- (2) 陽性となった一般病院の入院者や高齢者施設等の入所者が、基礎疾患の病状悪化によって死亡にいたるケースが相次いでいることを踏まえ、陽性者は原則としてコロナ専用病床にて入院療養ができるよう医療体制を拡充すること。そのために、保健所が主導して福岡県や医師会等と協議し、医療機関との連携を強化するとともに、臨時の医療施設の設置を含めて医療体制を拡充すること。
- (3) 陽性者は、症状の有無に関わらず原則としてホテル等を借り上げた宿泊療養施設において療養できるよう、福岡県と協議のうえ体制を強化すること。
- (4) 事情により自宅での療養を余儀なくされる陽性者については、健康状態を十分に把握し、万一病状が急変した場合、速やかに医療につなぐため、予め十分な備えを整えること。
- (5) 感染から回復後の後遺症に関する相談、医療体制を確立するとともに、後遺障害に関する補償を検討するよう政府に求めること。

以上、申し入れます。